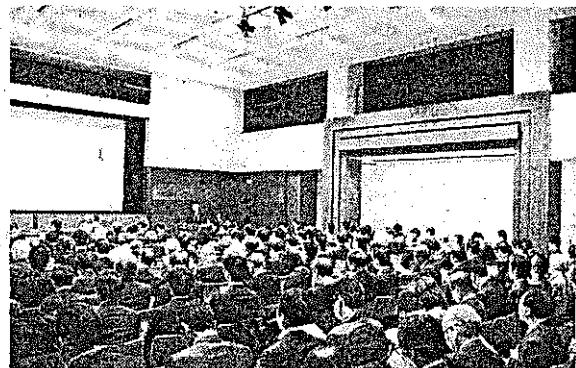


週刊ビル経営

平成31年 3月25日



▲超満員となつた講演会場

今月18日、不動産000社の会は、建築設計・不動産事業指すセミナー「第55回REB-1000企画研究所(東京都)代表取締役社の会」が渋谷区千渋谷区)を展開するSD建築の清水修司氏が理事長を務める。

「REB-1000社の会」は、今回で55回目を迎える。主に不動産・建設事業者による勉強会、業界内での人的交流の促進を目的に会は設立され、戦後世界でこれ

ビジネスの拡大を目指すセミナー「第55回REB-1000企画研究所(東京都千渋谷区)代表取締役社の会」が渋谷区千渋谷区)を展開するSD建築の清水修司氏が理事長を務める。

「REB-1000社の会」は、今回で55回目を迎える。主に不動産・建設事業者による勉強会、業界内での人的交流の促進を目的に会は設立され、戦後世界でこれ

つつ、平成の金融、経済行政を総括した。その中で五味氏は当時のバブル崩壊後の日本での金融行政について、銀行への公的資金の投入の必要性も定例の情報交換会が盛大に開催され、来場者が活発に意見交換や名刺を交換する場面がみられた。

今回の講演終了後も定例の情報交換会が盛大に開催され、来場者が活発に意見交換や名刺を交換する場面がみられた。

SD建築企画研究所

駿ヶ谷の「SYDホール」で開催され、定期的にセミナーを開催してきた。

だけのバブル崩壊を経験したのは日本経



代表取締役
清水 修司氏

れ、当日の参加者は250名を超えた。このセミナーは250名を超えた。このセミナーと題し、「金融厅の融行政を振り返る」ドン」といわれ、在団法人REB-1任中バブル崩壊後の日本

の五味廣文氏の講演にて直しに手腕を發揮した、元金融厅長官のバブル崩壊後の日本金融行政の立て直しに手腕を發揮した、元金融厅長官の五味廣文氏の講演が行われた。五味氏はバブル崩壊後の日本の金融の混乱状態を時系列で振り返り

元金融庁長官五味廣文氏が講演

第55回「REB-1000社の会」開催